

都市フォーラム 20号

東北都市学会通信（通巻20号）

2008年11月7日

<http://www.senkyo.co.jp/tau/index.html>

目次

- ・東北都市学会 2008 年度大会を開催
- ・2008 年度会員会を開催
- ・日本都市学会第 55 回大会が開催
- ・『研究年報』第 9 号自由投稿論文の募集
- ・研究活動活性化委員会の発足に向けて
- ・第 2 回ミニコロークを開催予定
- ・東北都市学会公式 HP について
- ・事務局の移転について
- ・事務局から

- 5. 学会会則改定案
- 6. 会誌の一本化および編集方法
- 7. 学会活動活性化委員会の設置
- 8. 事務局移転
- 9. 次年度大会
- 10. 役員改選
- 11. 日本都市学会分担事務および理事について
- 12. その他（会員の状況など）

東北都市学会 2008 年度大会を開催

2008 年度大会は、2008 年 9 月 27 日(土)・28 日(日)の両日にわたり、福島県いわき市の生涯学習プラザ（27 日）および LATOV いわき産業創造館（28 日）を会場として開催されました。第 1 日目は公開シンポジウム、懇親会が行われ、第 2 日目は研究発表が行われました。自由報告は 6 本でありましたが、いずれも意欲的な内容であり、熱心な質疑が交わされました。

本大会は、いわき市（商工観光部・商工労政課）と地元いわきの商工関係者、大会事務局となった福島工業高等専門学校のスタッフおよび学生の協力体制のもとで開催されました。ご支援いただきましたみなさまに、紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

2008 年度会員会を開催

2008 年度の会員会を 2008 年 9 月 28 日の大会時に開催しました。会員会の議事は次のとおりです。

1. 2007 年度事業報告
2. 2007 年度決算（案）
3. 2008 年度事業報告（案）
4. 2008 年度予算（案）

報告事項では理事会、2007 年度大会、公開シンポジウムの開催、研究例会 Colloque およびミニ・コロークの開催、学会通信および研究年報の発行が報告されました。2008 年度は役員改選の時期であり、審議事項では理事会から候補者が推薦され、会員会の信任を得るという形で役員改選案が承認されました。

東北都市学会新役員

- | | | |
|----|-----------------|----------------------|
| 会長 | 日野 正輝 | 【本部支部会長理事】 |
| 理事 | 北原 啓司（青森） | |
| 理事 | 石沢 真貴（秋田） | |
| 理事 | 佐藤 慎也（山形） | |
| 理事 | 吉野 英岐（岩手） | ：編集担当【本部支部選出理事】 |
| 理事 | 千葉 昭彦（宮城） | |
| 理事 | 初沢 敏生（福島） | |
| 理事 | 吉原 直樹 | |
| 理事 | 岩動 志乃夫 | ：研究活動担当 |
| 理事 | 高橋 英博 | ：渉外担当 |
| 理事 | 佐藤 信夫 | |
| 理事 | 佐藤 直由 | ：会計担当【本部監事】 |
| 理事 | 松本 行眞 | ：庶務担当【本部常任理事】 |
| 理事 | 秋田看護福祉大学地域総合研究所 | |
| | （担当：石川雅典） | |
| 理事 | 仙台市 | （担当：企画市民局総合政策部政策計画課） |

理事 仙台エリアマーク事業協同組合（担当：
松本真明）
監事 阿見 孝雄・高橋 早苗
顧問 古田 義弘

＊専門委員は、岩動志乃夫（委員長）、千葉昭彦、
初沢敏生、佐藤直由、松本行真、齋藤美和子、
土屋純、加藤渉、高橋雅也（編集担当）。

[任期：2008.10～2010.9]

日本都市学会第 55 回大会が開催

2008 年 10 月 25・26 日の 2 日間にわたって、
日本都市学会第 55 回大会が、「都市と観光――
日本におけるアーバンツーリズムの可能性」を
テーマに、兵庫県神戸市の神戸国際会館を会場
として、開催されました。

10 月 25 日午後は、矢田立郎神戸市長による
特別講演「神戸市の観光政策について」が行わ
れ、つづいてシンポジウムが行われました。研
究発表は 25 日午前と 26 日に行われ、研究発表
は 41 本のうち、東北都市学会からは 7 名の会
員（猪股歳之、大谷尚之、齋藤綾美、高橋雅也、
中村實、松本行真、三浦俊一：50 音順、敬称略）
が登壇し、フロアと活発な議論を交わして各部
会とも盛況となりました。

『研究年報』第 9 号自由投稿論文の募集

過日発行されました『研究年報』第 7・8 号
の合併号にひきつづいて、『研究年報』第 9 号
の発行を予定しています。

つきましては 2008 年度内の発行を目指して、
自由投稿論文を募集いたします。第 9 号掲載用
の原稿の〆切は、11 月末日必着とさせていただきます。

さらに、第 10 号（次々号）を 2009 年度大会
時にお配りできるよう発行する予定です。こち
らの自由投稿論文も募集しております。第 10
号掲載用の原稿の〆切は、2009 年 2 月末日必
着とさせていただきます。次号と次々号の〆切
を混同することのないよう、くれぐれもご注意
ください。

学会誌のコンスタントな発行と内容の充実
をととして、東北都市学会の一層の盛り上げを

図ろうと考えておりますので、ふるってご応募
ください。

なお、上記に限らず自由投稿論文は随時受け
付けています。「論文」、「研究ノート」、「フィー
ルドノート」、「都市情報」、「書評」、「文献紹介」
すべてのジャンルで受け付けます。

投稿にあたっては、研究年報各号に掲載して
おります[研究年報投稿規程]にしたがって原稿
を作成のうえ、下記の東北都市学会事務局『研
究年報』編集委員会宛にお送りください。

＊従来のような紙媒体による投稿に限らず、
Word か pdf 形式の論文データを添付した電子
メールによる投稿も受け付けます。

『研究年報』編集委員会
〒970-8034 いわき市平上荒川字長尾 30
福島工業高等専門学校
コミュニケーション情報学科
高橋雅也研究室気付（編集担当）
Tel&Fax 0246-46-0846
E-mail t-masaya@fukushima-nct.ac.jp

研究活動活性化委員会の発足に向けて

東北都市学会では、日本都市学会の活性化
WG の答申を受けて、研究活動活性化委員会の
発足に向けた準備を進めることになりました。

石川雅典会員に委員長として音頭を取って
いただき、主として若手会員の自発的な参加を
募りながら活性化の方策について議論を深めて
いく予定です。

つきましては、「学会のさらなる発展に一役
買いたい」という会員のみなさまからの積極的
な関与を募ります。さまざまなご意見をお寄せ
いただければと思いますので、よろしくお願い
いたします。

第 2 回ミニ・コロークを開催予定

東北都市学会では、若手会員による研究交流
をととした学会活性化を企図して、従来のコロ
ークよりも小規模で気軽な集いとして「ミニ・
コローク」を始めました。

第 1 回ミニ・コロークは 2007 年 12 月 14 日
（13：00～17：00）、東北大学川内キャンパス

を会場に開催され、高橋雅也会員から『『保存の時代』における都市祝祭』と題して報告が行われました。たっぷり時間をとった質疑応答では、参加者から豊富な論点が提示され、予想していた以上の盛会となりました。ささやかな試みの成功に、一同、意を強くしました。

そこで、ひきつづき、第2回ミニ・コロークの開催が実行的に計画されております。2008年12月13日に、弘前大学を会場として、報告者に三浦俊一会員をむかえて開催する予定です。参加を希望される方、ご関心をお持ちの方は、下記までお問い合わせください。

ミニ・コローク窓口
〒970-8034 いわき市平上荒川字長尾 30
福島工業高等専門学校
コミュニケーション情報学科
高橋雅也研究室気付（連絡係）
Tel&Fax 0246-46-0846
E-mail t-masaya@fukushima-nct.ac.jp

東北都市学会公式 HP について

都市フォーラム本号掲載の内容にかんする最新情報は、学会公式 HP でご確認ください。これからは、基本的に最新情報は HP、後を追って通信発行、という形式に順次移行していく予定です。会員のみなさまには、HP をこまめにチェックされることをお勧めいたします。

事務局の移転について

東北都市学会のおもな事務局機能が、2008年度大会時の理事会および会員会での審議・承認を経て、このたび東北文化学園大学（佐藤直由会員）から福島工業高等専門学校（芥川一則会員・松本行真会員・高橋雅也会員）に移転しました。よろしくお願いいたします。

事務局から

▼福島高専所属の会員3名で事務局をひきつぐことになりました。新体制でのぞむ、実質的に最初の一大イベントであった学会大会を無事に終えることができ、一同ほっと胸をなで下ろしているところです。

事務局運営と研究活動の両面から学会の盛り上げに力を尽くしてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

▼「学会発表を行って、研究年報に投稿する」。この流れを（とりわけ若手会員において）定着させることが、学会活性化の第一歩です。

そのための場づくりを円滑に進めることが、われわれ事務局の課題であると考えています。みなさまのご理解とご協力のほど、重ねてお願い申し上げます。

▼若手会員の奮起を期待する声がしばしば聞かれます。まさしく東北都市学会は、若手の創意を学会運営に反映させる柔軟性に富んでいます。会員におかれましては、これを好機ととらえて活発にご参加ください。

お願い

勤務先、連絡先住所、電話番号、メールアドレス等に変更がありましたら、事務局まで FAX や E-mail などでお知らせ下さい。

都市フォーラム 20号
東北都市学会通信
2008年（平成20年）11月7日発行
編集発行 東北都市学会事務局
〒970-8034 いわき市平上荒川字長尾 30
福島工業高等専門学校
コミュニケーション情報学科
高橋雅也研究室気付（通信担当）
Tel&Fax 0246-46-0846
E-mail t-masaya@fukushima-nct.ac.jp
<http://www.senkyo.co.jp/tau/index.html>
